

## 「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」

(2016 年度 第 1 回) を開催しました！

(国土交通省 政策統括官付)

- 国土交通省では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、訪日外国人旅行者や高齢者や障害者等、誰もがストレス無く自由に移動できるよう、ICT（情報通信技術）を活用した歩行者移動支援サービスの普及促進に取り組んでいます（図 1）。
- サービスの実現には、スマホ等の“情報端末”、GPS 等の“測位インフラ”、バリアフリー情報や地図等の“各種データ”が必要となります（図 2）が、サービスの普及促進に向けた環境整備のため、2014 年に「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（委員長：坂村健東京大学教授）を設置しました。
- 本委員会で昨年 4 月にとりまとめた提言では、サービスの普及促進に向けて「オープンデータ」の考え方に基づく取組の重要性が指摘されました。本提言を踏まえ、国土交通省では、地方公共団体等の保有するバリアフリー情報等のオープンデータ化、さらには、民間事業者等によるそれらデータを活用した多様なサービスの創出が進められるよう環境整備に取り組んでいます。（図 3）
- この度、8 月 31 日（水）に 2016 年度第 1 回会議を開催しました。今回の会議では、経路上の段差や勾配等のバリア情報を含む歩行空間ネットワークデータ等の仕様改訂や効率的なデータ整備・更新手法の検討等、提言に基づく今年度の取組方針について審議したほか、関連するプロジェクトについて取組状況を報告しました。会議資料及び議事概要は下記 URL を参照ください。今年度の会議は今回を含め計 3 回を予定しています。
  - 「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」ホームページ  
[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_fr\\_000020.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000020.html)
- 国土交通省では、引き続き地方公共団体等の様々な主体と連携しながら歩行者移動支援サービスの普及促進に取り組んでまいります。関心のある方は是非お問い合わせください。



会議の様子（2016.8.31）

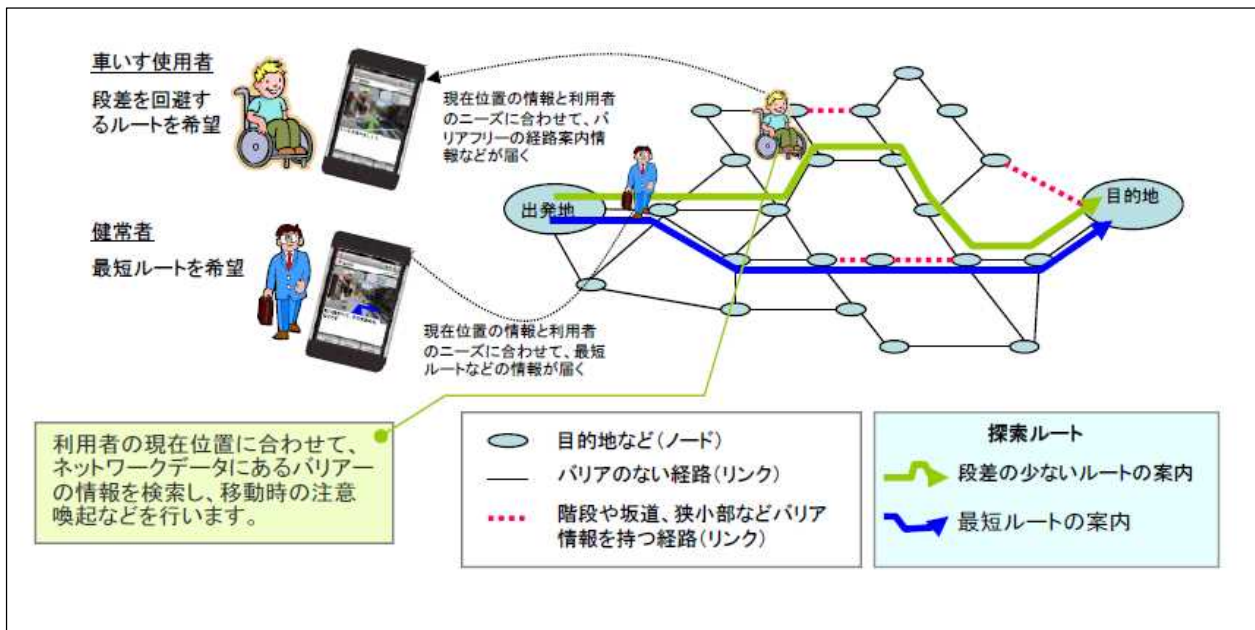


図1 歩行者移動支援サービスのイメージ

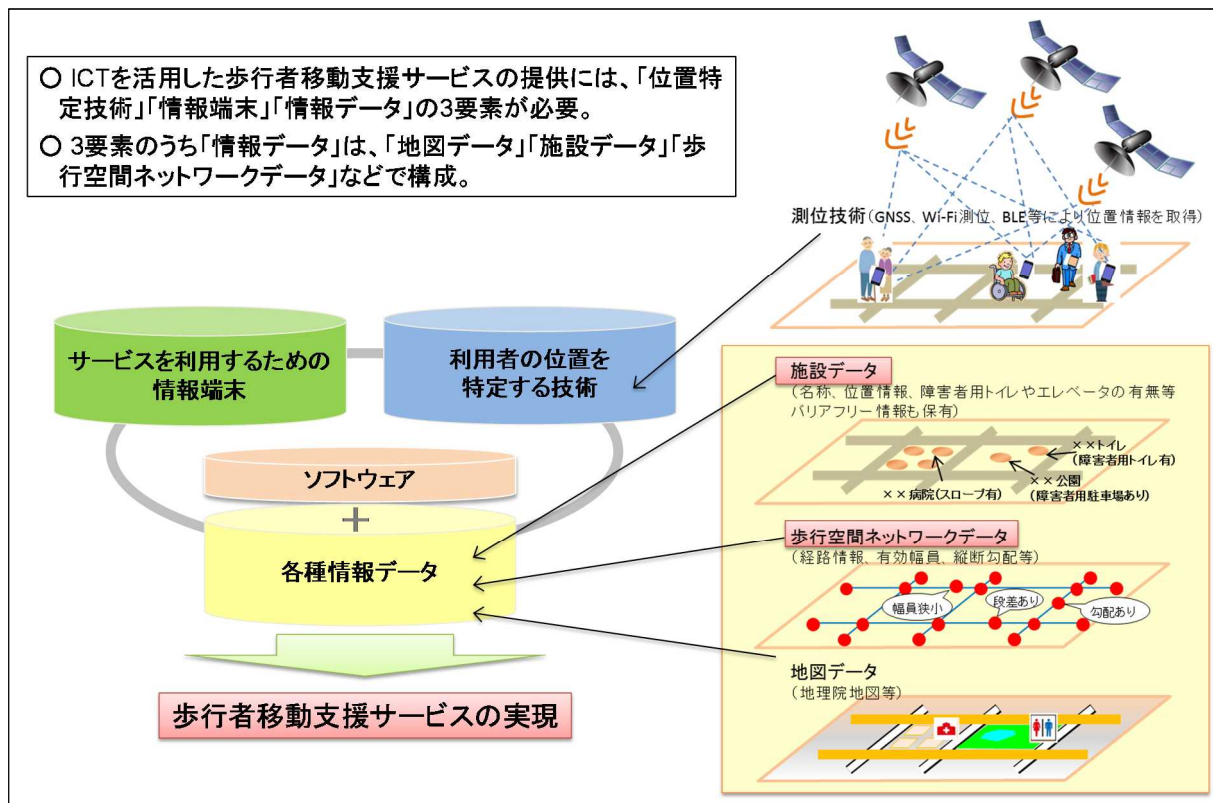


図2 ICT を活用した歩行者移動支援サービスの仕組み



図3 オープンデータの活用によるサービス創出のイメージ

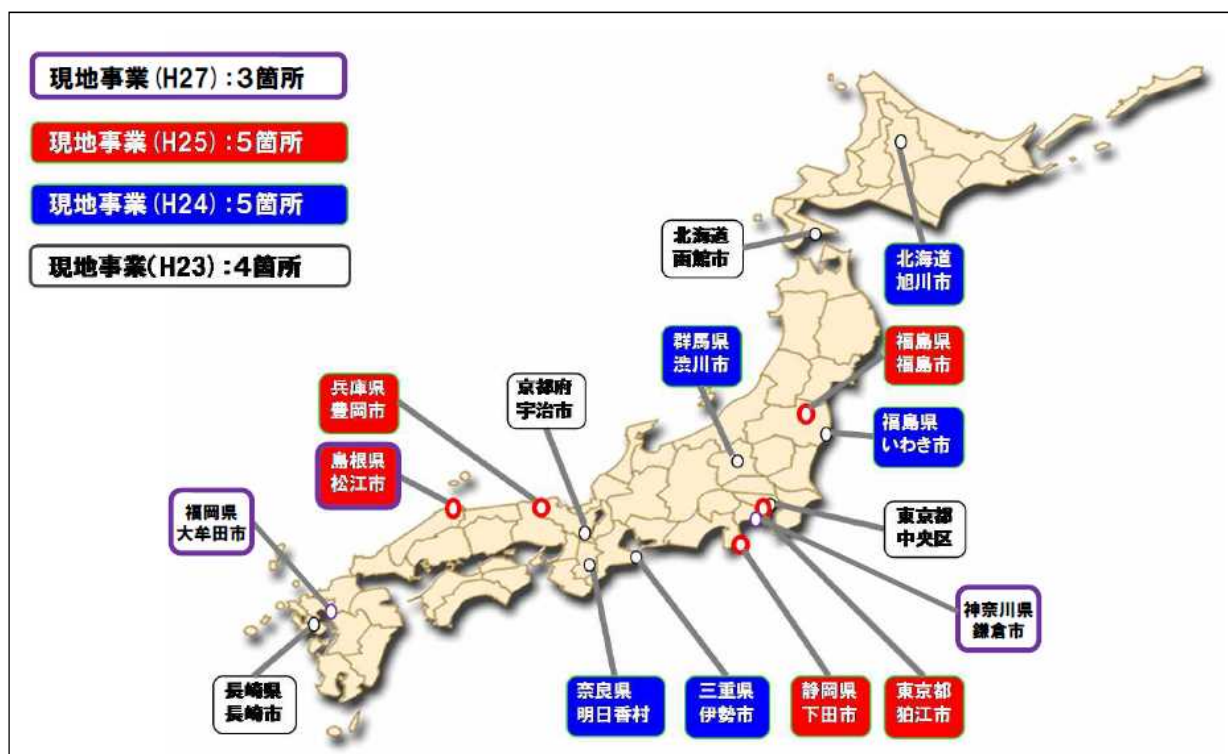


図4 歩行者移動支援に関する現地事業の展開



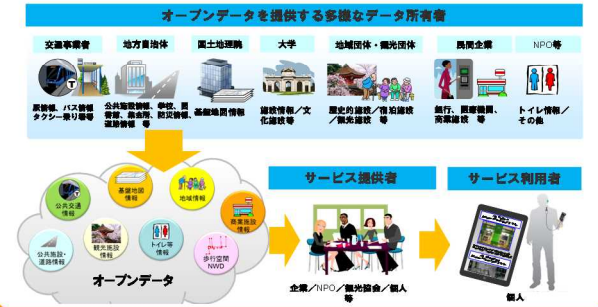
○ユニバーサル社会の構築に向け、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を当面の目標とし、屋内外の電子地図や屋内測位環境等の空間情報インフラの整備・活用、及び移動に資するデータのオープンデータ化等を推進し、民間事業者等が多様なサービスを提供できる環境を整備

○空間情報インフラ(屋内の電子地図、測位環境等)の整備・管理の仕組み等の検討

<空間情報インフラ整備のイメージ>



○歩行者移動支援に資する各種データのオープンデータ化  
<オープンデータの活用によるサービス創出のイメージ>



### 歩行者移動支援サービスのイメージ

〔屋内外問わず、自分の現在位置、目的地までの経路等の情報が詳細に入手可能〕



図5 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた歩行者移動支援サービスのイメージ

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課(併)政策統括官付 TEL:03-5253-8111(内線 53102)

#### 【関連ホームページ:ICTを活用した歩行者の移動支援の推進】

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_mn\\_000002.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html)